



第1回東アジア日本学研究国際シンポジウム（魯東大学）

## 会長挨拶

会員の皆様へ

このたび、本学会は発足8年目を迎え、初めてニュースレターを発行する運びとなりました。

本ニュースレターは、会員の皆様のあいだの情報交流と連携をより深め、それを通して学会全体のさらなる活性化につなげていくことを願って企画したものです。

本学会は、2018年9月に中国・魯東大学において産声を上げました。ホームページにも記しておりますように、中日韓を中心とした東アジアにおいて、日本の言語・文学・社会・文化・歴史など、日本に関する研究と教育に携わる研究者が、それぞれの成果を発表し、情報を交換し、親睦を深め、さらには共同研究や共同プロジェクトへとつなげていくことのできる国際的研究学会を目指しております。

この趣旨のもと、歴代会長ならびに会員の皆様のご協力を得て、主として年1回の学術大会と年2回の学会誌刊行を柱とする活動を重ねてまいりました。その結果、本学会は今日、数百名の会員を擁する学会へと成長しております。

一方で、設立以来の学会運営においては、会員管理、会費納入、開催地の偏りなど、さまざまな課題もございました。しかし、そのような中であっても、本学会が着実に歩みを進め、その名にふさわしい学会として発展してきたことは、会員の皆様お一人おひとりのお力添えの賜物にほかなりません。

このたびのニュースレター発行が、新たな交流のきっかけとなり、本学会が今後ますます充実した活動を展開し、広く世界に向かって羽ばたいていくことを心より願っております。

東アジア日本学研究会 会長 李 東哲

## 第8回東アジア日本学研究国際シンポジウム（予告）

2026年9月11日（金）～13日（日）／京都

- 会場：京都先端科学大学太秦キャンパス
- 付帯行事：9月13日（日）にエクスカージョン（任意参加）を予定
- 詳細：学会ホームページにてご案内しております。

### 前回大会報告



跨文化背景下中日人文交流及区域別研究会暨第七届东亚日本学研究会学术研讨会  
2025年8月15日—2025年8月17日  
中国・延辺大学

第7回東アジア日本学研究国際シンポジウム  
参加者集合写真（延辺大学）

2025年8月15日から17日にかけて、中国・延辺大学において「異文化理解を目指す中日人文交流と地域研究シンポジウム」ならびに「第7回東アジア日本学研究国際シンポジウム」が開催された。会期中は基調講演、パネルディスカッション、分科会等が実施され、日本学研究および東北アジア地域研究をめぐる活発な討論が展開された。16日には東アジア日本学研究会総会も併催され、活動報告および次期会長選挙結果の報告等が行われた。学術的対話を深化させる有意義な機会となった。

文責：朴 占玉（遼東学院）

### 会員のひとこと

飯嶋 美知子

北海道情報大学

日本で外食業への就労を希望する外国人のための教材を作成し、「外食業特定技能人材のための教材サイト」に公開しました。『特定技能Ⅰ号 外食業技能測定試験 学習用テキスト』（衛生管理・飲食物調理・接客全般）に準拠した「単語帳」と「問題集」を掲載しています。「単語帳」は英語・中国語・ベトナム語版があり、特定技能Ⅰ号合格を目指す方だけでなく、外食業分野の語彙を学びたい方にも活用いただけます。無料でダウンロード可能です。



[外食業特定技能人材のための教材サイト](#)

## 肖 家璋

北海道大学大学院

現在、旧産炭都市における観光転換と地域アイデンティティの再構築をテーマに研究しています。事例として福島県いわき市を取り上げ、外来文化や地域の記憶がいかに観光資源として再構成され、語られているのかを分析しています。アイデンティティ論の視点から、地域の集团的アイデンティティと住民の個人的アイデンティティの齟齬や統合の可能性について考察しています。今後も現地調査を重ねながら、地域の方々の語りに丁寧に向き合っていきたいと思います。



## 孫 振

国際ビジネスアライアンス

現在、多国籍企業および国際戦略的提携を主な研究テーマとしております。特に、企業間提携におけるパートナー選択の問題に関心を持ち、その形成要因や成果への影響について分析しています。近年、技術革新や市場環境の変化に伴い、企業間の協力関係や異業種企業との提携の重要性が高まっています。本研究では、こうした国際的な企業提携の動向に着目し、企業がどのような基準でパートナーを選択し、協力関係を構築していくのかを明らかにすることを目指しています。



## 滝澤 修身

長崎純心大学

私は、長崎純心大学に勤務しております滝澤修身と申します。専門はキリシタン史です。16・17世紀には、長崎の町は日本のキリシタンの中心であり、「日本のローマ」とも呼ばれていました。その時代のキリシタンの生活や、彼らの末裔である潜伏・隠れキリシタンについても研究しております。現在は、イエズス会宣教師ルイス・フロイスを研究しております。長崎を軸に、信仰と地域社会の関わりについて考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 林 瑛

長春工業大学

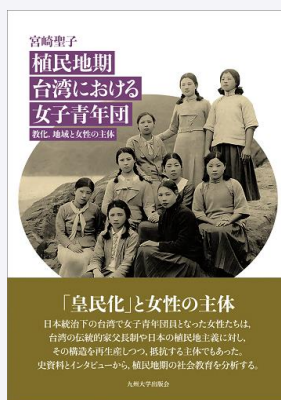
修士・博士課程を通じて日本語教育学を究め、学位取得後も本学会を中心に研究成果を発表・投稿してまいりました。本年より、日本語教育を地域固有の文脈から捉え直すため、区域国別学の領域にも新たに取り組み、学際的な研究視座の拡充に努めております。従来の専門性を基盤に、より複眼的な探究を深化させるとともに、新たな領域との接点を模索しながら研究を進めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 宮崎 聖子

福岡女子大学

近刊の拙著をご紹介します。宮崎聖子『植民地期台湾における女子青年団——教化、地域と女性の主体』（2026年3月、九州大学出版会）です。本書では、マクロな視点から、台湾総督府が処女会・女子青年団の政策を通して植民地女性をどのように「国民化」「皇民化」しようとしたのかを通時的に分析し、またミクロな視点から、政策の受け手であった女性たちの経験を検討することで、女子青年団の諸相を捉えました。お手に取っていただければ幸いです。



『植民地期台湾における女子青年団——教化、地域と女性の主体』（2026年3月、九州大学出版会）

## 事務局からのお知らせ

[学会ホームページはこちら](#)

- 大会案内や各種お知らせは、学会ホームページにて随時ご案内いたします。
- 所属・連絡先等に変更がありましたら、事務局までお知らせください。
- 会員情報の確認・更新をお願いする場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

## 編集後記

ニューズレター創刊号の発行にあたり、ご挨拶文、会員寄稿、前回大会報告をご寄せくださった皆様に、心より御礼申し上げます。本号が、会員相互の交流と情報共有の一助となれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。  
(編集担当:菅 陽子・于心)

発行：事務局 / 連絡先：eaja2017@163.com / URL：east-asia.info